

◎昭和46年度第2回理事会議事録(46.7.30)出席者:高野会長,石川,奥村,河上,篠原の各副会長,下村専務理事,浅間,荒木,岩垣,尾崎,後藤(尚),後藤(明),鈴木,半谷,細井の各理事,横田監事。議事録署名理事の決定:高野会長,下村専務理事,後藤(明)理事。
 A. 報告事項:次の各項につき下村専務理事から報告があり了承された; 1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 会務担当理事会報告:昭和46年7月22日(金)開催の会務担当(総務,企画,経理,編集出版,調査研究)理事会の議事概要および審議経過のうち,第1回理事会において会務担当理事会一任とされた「田中博士記念基金の運用について」は,東京電力(株)社債を購入することに決定した旨を報告し,その他の議題については議事の議題と重複するため,議題審議の際に報告することとして了承。B. 協議事項:1) 土木年鑑の廃刊と土木学会誌増刊号の発行について:下村専務理事から概要を,高野会長から会務担当理事会における審議経過概要をそれぞれ説明し,原案どおり土木年鑑を廃刊し,土木学会誌増刊号を発行することを異議なく決定。2) 橋梁構造委員会の改組について:奥村副会長から,会務担当理事会における審議経過概要の説明があり,橋梁構造委員会を改組して,構造工学委員会(委員長 平井敦君)と鋼構造委員会(委員長 友永和夫君)を新設することを異議なく決定。3) 企画委員会の構成について:下村専務理事および高野会長から,会務担当理事会における審議経過概要の説明があり,原案どおり堀武男君を新委員長として再発足することを決定。4) 安全問題研究委員会(仮称)の構成について:下村専務理事から,会務担当理事会における審議経過概要の説明があり,原案どおり丸安隆和君を委員長として委員会を設置して発足することを決定。5) 土木会館建設懇談会(仮称)の構成について:下村専務理事から,会務担当理事会における審議経過概要の説明があり,原案どおり懇談会を設置し,高野会長を座長とすることを異議なく決定。6) その他:①浅間理事から,仙台市において10月1日~10月3日開催の昭和46年度全国大会の概要について説明があった。②横田監事から,建設コンサルタント委員

会の審議概要について説明があった。③尾崎理事から,横道英雄君(北海道大学工学部土木工学科)が日本学術会議第9期会員(北海道地方区)候補者として立候補したことについて説明があり,8月号の会誌に掲載して広報することになった。④会員入退会について。7) 委員の委嘱について

- ① 昭和46年度土木学会誌編集委員会
 委員長 千秋 信一 電力中央研究所
 委員 浅沼 晃 新日本技研
 安藤 茂 建設省
 稲村 肇 東京工業大学
 上野 芳久 鹿島建設
 大柳 信義 運輸省
 大野 善雄 建設技術研究所
 小川 裕章 建設省
 小原 忠幸 大成建設
 河島 恒一 日本道路公団
 北野 章 建設省
 北原 義浩 電力中央研究所
 草木 陽一 国鉄
 小林 一輔 東京大学
 小村 敏 首都高速道路公団
 佐藤 和夫 建設省
 陳内 孝雄 同
 杉山 俊宏 水資源開発公団
 壺阪 祐三 日本鉄道建設公団
 富岡 紘 東京都第1建設事務所
 伯野 元彦 東京大学
 橋本 宏 建設省
 本多 辰巳 運輸省
 峯本 守 国鉄
 安原 明 同
 山田 俊英 通産省
 山本 勝三 農林省
 渡辺 信夫 経企庁総合開発局
 加来 照俊 北海道大学
 前川 静男 北海道開発局
 倉西 茂 東北大学
 福田 正 同
 新井 雅美 国土総合開発
 岡部 忠夫 東京電力
 榎下 協 名古屋大学
 宇野 尚雄 岐阜大学
 久保 弘一 大阪工業大学
 白石 成人 京都大学
 田原 英二 建設省
 船越 稔 広島大学
 榎木 武 九州大学
 中野 健次 福岡県土木部
 服部昌太郎 中央大学
 委員兼幹事長兼委員 今本 博健 京都大学
 加藤 三郎 厚生省
 川原 睦人 ユニック
 黒川 洸 建設省
 深井 俊英 同
 横山 義雄 大林組
 渡辺 正法 国鉄
 ◎ 青函トンネル土庄研究委員会構成
 委員長 岡本 舜三 埼玉大学
 委員 小野寺 透 同
 岡 行俊 京都大学
 川本 勝万 名古屋大学
 小林 昭一 京都大学
 桜井 春輔 神戸大学

- 嶋 祐之 埼玉大学
 鈴木 光 東京大学
 関 陽太郎 埼玉大学
 高橋 彦治 国鉄
 樋口 芳朗 同
 平松 良雄 京都大学
 広田 孝一 電源開発
 村山 朗郎 京都大学
 最上 武雄 日本大学
 芳村 仁 北海道大学
 北原 正一 日本鉄道建設公団
 足立 貞彦 同
 浜 建介 同
 横山 章 同
 持田 豊 同
 進藤 卓 同
 石崎 昭義 同
 土屋 敬 同
 壺阪 祐三 同
 今村 一郎 同
 ◎ 昭和46,47年度海岸工学委員会
 委員長 岩垣 雄一 京都大学
 委員 尾崎 晃 北海道大学
 岸 力 同
 岩崎 敏夫 東北大学
 林 泰造 中央大学
 三浦 晃 日本大学
 宇野木早苗 東海大学
 日野 幹雄 東京工業大学
 服部昌太郎 中央大学
 細井 正延 名古屋工業大学
 永井荘七郎 大阪市立大学
 長尾 義三 京都大学
 室田 明 大阪大学
 樋口 明生 京都大学防災研究所
 野田 英明 鳥取大学
 井島 武士 九州大学
 河島 晃 建設省
 生瀬 隆夫 同
 富永 正照 同
 久田 安夫 運輸省
 日下 宏 同
 鶴田 千里 同
 浜田 徳一 同
 佐藤 昭二 同
 増本 新 農林省
 中村 亮 同
 千秋 信一 電力中央研究所
 鴻上 雄三 北海道開発局
 新妻 幸雄 日本港湾コンサルタン
 佐藤 清一 日本建設コンサルタ
 白石 直文 日本テトラポッド
 梶浦欣二郎 東京大学地震研究所
 奥田 稜 気象庁
 上森 千秋 高知大学
 委員兼幹事長兼委員 堀川 清司 東京大学
 柏村 正和 北海道大学
 豊島 修 建設省
 堀口 孝男 運輸省
 首藤 伸夫 中央大学
 榎木 亨 大阪大学
 土屋 義人 京都大学
 光易 恒 九州大学
 橋本 宏 建設省
 合田 良実 運輸省
 和田 明 電力中央研究所
 ◎ 昭和46,47年度海岸工学委員会編集小

- 委員会
委員長 堀川 清司 東京大学
委員 合田 良実 運輸省
橋本 宏 建設省
西村 仁嗣 東京大学
川口 毅 農林省
和田 明 電力中央研究所
鹿島 遼一 同
木原 力 運輸省
酒井 哲郎 京都大学
- ⑤ 昭和46, 47年度水理委員会編集小委員会
委員長 安芸 周一 電力中央研究所
委員 荻原 国宏 東京大学
加藤 始 運輸省
堀川 登 早稲田大学
玉井 信行 東京大学
日野 幹雄 東京工業大学
松尾 友矩 東京大学
- ⑥ 耐震工学委員会
委員長 岡本 舜三 埼玉大学
副委員長 久保慶三郎 東京大学
委員 伊吹山四郎 建設省
石井 靖九 新日本製鉄
大地 羊三 法政大学
表 俊一郎 九州大学
小西 一郎 京都大学
河野 通之 日本交通技術
鈴木 俊男 東京都建設局
寺島 重雄 北海道大学
友永 和夫 横河橋梁製作所
那須 信治 早稲田大学
西亀 達夫 国鉄
沼田 政矩 国士館大学
福岡 正巳 東京大学
水越 達雄 東京電力
村上 永一 本州四国連絡橋公団
- 常任委員
浅田 秋江 東北大学
石原 研而 東京大学
大久保忠良 建設省
片山 恒雄 中央大学
勝又 護 気象庁
亀田 弘行 京都大学
栗林 栄一 建設省
毛戸 秀幸 日本道路公団
小坪 清真 九州大学
小寺 重郎 八千代エンジニアリ
ング
後藤 尚男 京都大学
桜井 彰雄 電力中央研究所
沢田 健吉 科学技術庁
田村 浩一 国鉄
田村重四郎 東京大学
土田 肇 運輸省
土岐 憲三 京都大学
中川 義徳 東京都水道局
野口 俊郎 東京電力
馬場 恭平 電源開発
伯野 元彦 東京大学
林 聡 運輸省
山田 善一 京都大学
芳村 仁 北海道大学
渡辺 昇 同
- ⑦ 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会
委員長 奥村 敏恵 東京大学
委員 足立 洪 日本道路公団
阿部 英彦 国鉄
秋山 成興 埼玉大学

- 委員 伊藤 文人 国鉄
伊藤 学 東京大学
上前 行孝 首都高速道路公団
大地 羊三 法政大学
大田省三郎 国鉄
菊池 洋一 名古屋大学
峯掛 哲男 建設省
国広 哲男 同
倉西 茂 東北大学
小松 定夫 大阪大学
佐藤 靖 国鉄
笹戸 松二 阪神高速道路公団
西村 昭 神戸大学
橋本 達知 国鉄
福本 晴士 名古屋大学
堀川 浩甫 東京都立大学
前田 幸雄 大阪大学
蒔田 実 建設省
宮崎 昭二 同
森 芳徳 同
山下 清明 法政大学
山田 善一 京都大学
吉田 裕 東京工業大学
渡辺 昇 北海道大学
多田 安夫 本州四国連絡橋公団
田島 二郎 同
松村 存 同
藤井 郁夫 同
朝倉 肇 建設省
井上 啓一 同
奥田 寿夫 同
竹名 策英 同
小川 英信 本州四国連絡橋公団
大田 実 同
林 有一郎 同
宮下 力 同
馬場 賢三 同
- 委員兼幹事
朝倉 肇 建設省
井上 啓一 同
奥田 寿夫 同
竹名 策英 同
小川 英信 本州四国連絡橋公団
大田 実 同
林 有一郎 同
宮下 力 同
馬場 賢三 同
- ⑧ 本州四国連絡橋耐風研究小委員会
委員長 大久保忠良 建設省
委員 新井 秀雄 国鉄
河村 四朗 気象庁
塩谷 正雄 日本大学
白石 成人 京都大学
田中 宏 東京大学
福地 合一 国鉄
鷲津久一郎 東京大学
多田 安夫 本州四国連絡橋公団
田島 二郎 同
松村 存 同
- 委員兼主査
伊藤 学 東京大学
岡内 功 中央大学
- 委員兼幹事
榎波 義幸 建設省
成田 信之 同
宮田 利雄 東京大学
西野 新造 同
村田 正信 同
- ⑨ 本州四国連絡橋耐震研究小委員会
委員長 久保慶三郎 東京大学
委員 浅間 達雄 建設省
石原 研而 東京大学
岩崎 敏男 建設省
江尻 晋 阪神高速道路公団
大久保忠良 建設省
大地 羊三 法政大学
片山 恒雄 中央大学
勝又 護 気象庁
倉西 茂 東北大学
毛戸 秀幸 日本道路公団

- 委員 小坪 清真 九州大学
桜井 彰雄 電力中央研究所
沢田 健吉 科学技術庁
田村 浩一 国鉄
菊田 孝信 東洋大学
七田 肇 運輸省
七岐 憲三 京都大学
田村 正平 首都高速道路公団
木 聡 運輸省
森 俊郎 国鉄
野井健一郎 早稲田大学
山田 善一 京都大学
寺村 仁 北海道大学
上田 巖 本州四国連絡橋公団
藤井 郁夫 同
多田 浩彦 同
保田 雅彦 同
- 委員兼主査
栗林 栄一 建設省
後藤 尚男 京都大学
伯野 元彦 東京大学
- ⑩ 水理委員会
委員兼顧問 安芸 敏一 関東学院大学
石原藤次郎 京都大学
伊藤 剛 新潟大学
本間 仁 東京大学
委員長 吉川 秀夫 東京工業大学
幹事長 岩佐 義朗 京都大学
委員 栗谷 陽一 九州大学
石原 安雄 京都大学
岩垣 雄一 同
岩崎 敏夫 東北大学
小川 元 日本大学
杉木 昭典 東京大学
千秋 信一 電力中央研究所
浜田 徳一 運輸省
林 泰造 中央大学
堀川 清司 東京大学
松本順一郎 東北大学
山岡 勲 北海道大学
板倉 忠興 同
木村喜代治 日本大学
荒木 正夫 水資源公団
稲田 裕 建設省
荻原 国宏 東洋大学
加藤 始 運輸省
椎貝 博美 東京工業大学
鮎川 登 早稲田大学
玉井 信行 東京大学
中山 謙治 電源開発
日野 幹雄 東京工業大学
堀口 孝男 運輸省
前田 弘 東京電力
河村 三郎 岐阜大学
高瀬 信忠 金沢大学
西畑 勇夫 名古屋大学
合田 健 京都大学
橋本 亨 大阪大学
高棟 琢磨 京都大学
田中 茂 神戸大学
永井狂七郎 大阪市立大学
杉尾信三郎 徳島大学
篠原 謹爾 九州大学
委員兼幹事 嶋 祐之 埼玉大学
高橋 裕 東京大学
室田 明 大阪大学
岸 力 北海道大学
沼田 淳 東北大学
安芸 周一 電力中央研究所

委員兼幹事	土屋 昭彦	建設省
	服部昌太郎	中央大学
	足立 昭平	名古屋大学
	芦田 和男	京都大学
	中川 博次	京都大学
	金丸 昭治	広島大学
	梅 東一郎	九州大学

◎各種委員会

(1) 終局強度に関する打合せ (46.6.11) 出席者：関係者 8 名。議事：1) New Design Method Cuts Steel Bridge Weight の説明。2) JABSE コロキウムの紹介。3) 確率度数の積の分数の件。4) 強度設計における安全率と信頼性。

(2) 海外活動委員会 (46.6.11) 出席者：太田尾委員長，ほか 9 名。議事：1) 45 年度委員会の反省。2) 海外工事の契約・示様書研究会について。3) 46 年度委員会構成について。

(3) 昭和 46 年度第 2 回高校土木教育研究委員会幹事会 (46.6.12) 出席者：山之内委員長，三宅副委員長，小谷幹事長，ほか 8 名。議事：1) 昭和 46 年度夏期講習会の実施について。2) 施設設備基準 (案) の作成について。3) アンケート集計結果よりみた問題点の検討；①教育・指導の方法についての研究，②視聴覚教材とその効果的使用方法の研究，③各科目の指導内容の精選および構造化について，④会報発行の件。4) その他；①学習指導要領解説書の件，②出版社よりの出版依頼の件。

(4) 視聴覚教育委員会選定映画審査会 (46.6.12) 出席者：綾幹事長，ほか 11 名。議事：選定映画応募作品の審査を行わない，次の 2 本が選定映画になった。

「海をひらく傾斜沈埋函／間組名古屋支店，「静かな破碎」／大成建設

(5) 視聴覚教育委員会第 3 小委員会 (導入促進) (46.6.12) 出席者：長谷川主査，ほか 2 名。議事：「土木技術者の視聴覚教育実施調査表」アンケートに申し打合せを行なった。

(6) プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会施工分科会 (46.6.14) 出席者：鈴木主査，ほか 16 名。議事：プレストレスト コンクリート杭設計施工指針編の逐条審議を行なった。

(7) 原子力耐震部会 (46.6.15) 出席者：関係者 15 名。議事：1) 動燃設計炉 (大洗) の設計資料について。2) 原子炉建屋の静的耐震設計検討結果について。3) 動的応答計算の準備。

(8) 岩盤力学委員会第 3 分科会 (第 9 回) (46.6.15) 出席者：石原主査，ほか 9 名。議事：1) 岩盤力学文献目録 (第

4 回) の作成について。2) 現地岩盤試験資料のとりまとめ。

(9) 海洋開発委員会幹事会 (46.6.15) 出席者：本間委員長，ほか 8 名。議事：1) ECOR 国内委員会について。

2) 鋼材クラブよりの委託研究について。3) 文部省科学研究費について。4) 今後 2 年間の委員会活動方針について。

(10) パイプラインの技術基準研究特別委員会第 4 回委員会 (46.6.16) 出席者：奥村委員長，ほか 26 名。議事：運輸省作成の技術基準 (第 2 原案) の検討。

(11) 昭和 46 年度建設省委託「沈埋トンネル耐震性に関する研究委員会」打合せ (46.6.7) 出席者：関係者 5 名。議事：昭和 46 年度建設省委託「沈埋トンネル耐震性に関する研究」委員会設置のための打合せ。

(12) 衛生工学委員会幹事会 (46.6.18) 出席者：関係者 4 名。議事：衛生工学委員会の運営につき打合せた。

(13) 衛生工学委員会 (46.6.18) 出席者：左合委員長，ほか 16 名。議事：1) 委員長の選任および指名。2) 昭和 46 年度事業計画；①第 8 回衛生工学研究討論会，②環境問題小委員会，③水高度利用小委員会，④下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会，⑤琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会，⑥ウエバー氏講演会。3) 下水道技術者について。4) 日米合同公害会議について。5) 全国大会衛生工学部門講演会について。6) 水質汚泥研究会について。

(14) 青函トンネル土工研究委員会小委員会 (46.6.18) 出席者：関係者 10 名。議事：小委員会の取扱う範囲，調査事項，研究方法につき打合せた。

(15) 論文集編集委員会第 1 小委員会 (46.6.18) 出席者：田島前主査，伊藤主査，ほか 15 名。議事：1) 46 年度主査・幹事の決定。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 新旧事務引きつぎ。5) 送り事項・その他。

(16) 論文集編集委員会第 2 小委員会 (46.6.18) 出席者：岩垣前主査，室田主査，ほか 10 名。議事：1) 46 年度主査・幹事の決定。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 新旧事務引きつぎ。5) 送り事項・その他。

(17) 論文集編集委員会第 3 小委員会 (46.6.18) 出席者：伊勢田前主査，久野主査，ほか 5 名。議事：1) 46 年度主査・幹事の決定。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 新旧事務引きつぎ。5) 送り事項・その他。

(18) 論文集編集委員会第 4 小委員会

(46.6.18) 出席者：新谷主査，ほか 9 名。議事：1) 46 年度主査・幹事の決定。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 新旧事務引きつぎ。5) 送り事項・その他。

(19) 論文集編集委員会第 5 小委員会 (46.6.18) 出席者：岩間主査，ほか 9 名。議事：1) 46 年度主査・幹事の決定。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 新旧事務引きつぎ。5) 送り事項・その他。

(20) 論文集編集委員会合同委員会 (46.6.18) 出席者：前田委員長，ほか 55 名。議事：1) 委員長あいさつ。2) 論文報告集作業手順説明。3) 昭和 46 年度編集方針，外。4) 昭和 46 年度主査・幹事の紹介。

(21) 膨脹性セメント混和材を用いたコンクリートに関する研究小委員会幹事会 (46.6.19) 出席者：関係者 6 名。議事：膨脹性セメントコンクリートの試験結果について。

(22) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 1 回幹事会 (46.6.19) 出席者：大久保委員長，ほか 9 名。議事：小委員会提出資料の検討およびとりまとめ。

(23) プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会 (46.6.21) 出席者：国分副委員長，ほか 21 名。議事：プレストレスト コンクリート設計施工指針の逐条審議。

(24) “土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会幹事会 (46.6.21) 出席者：関係者 4 名。議事：各章の第 1 次原案の作成を行なった。

(25) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会海洋還元分科会 (46.6.21) 出席者：関係者 9 名。議事：昭和 46 年度下水汚泥の海洋還元に関する調査研究受託について。

(26) パイプラインの技術基準研究特別委員会第 5 回委員会 (46.6.21) 出席者：奥村委員長，ほか 30 名。議事：1) 運輸省作成の第 3 原案審議。2) 報告「まえがき」について。3) 今後のとりまとめ方法。4) 挨拶 (運輸省・土木学会)。

(27) 耐震工学委員会第 1 回常任委員会 (研究会) (46.6.22) 出席者：岡本委員長，ほか 16 名。議事：1) 委員会構成について。2) 連絡ならびに協議事項；①第 11 回地震工学研究発表会について，②今後の委員会，研究会活動について，③本州四国連絡橋の耐震に関する調査研究 (委託) について，④沈埋トンネル耐震研究 (委託) について，⑤第 5 回世界地震工学会議について。3) 研究会；①

強震記録応答スペクトルの性質について片山常任理事、②大型耐震実験装置を使った実験について一プレハブ (Space vnit) の振動実験 沢田常任委員。

(28) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会 (第1回) (46.6.22) 出席者: 奥村委員長, ほか34名。議事: 1) 挨拶。2) 委員会構成案について。3) 委員会の趣旨, 作業予定等について。4) 既往の本州四国連絡橋示方書について。5) 設計基準作成業務の進め方について。

(29) PC工法小委員会 (SEER工法) (46.6.22) 出席者: 国分委員長, 河野主査, ほか29名。議事: PC工法 (SEER工法) 設計施工指針 (案) の逐条審議を行った。

(30) 会誌編集委員会幹事会 (46.6.22) 出席者: 千秋委員長, 服部幹事長, ほか4名。議事: 1) 経過報告。2) 学会誌56巻10号特集の件。3) 昭和46年度学会誌編集委員会委員選任の件。4) 学会誌編集委員会諸内規の件。5) 本年度特集等編集企画の件。6) その他。

(31) 海外活動委員会打合せ (46.6.24) 出席者: 関係者4名。議事: 海外工事契約約仕様書研究会の運営要項について打合せを行った。

(32) 国鉄貨物設備アスファルト舗装設計に関する研究委員会 (昭和45年度) (46.6.24) 出席者: 星笠委員長, ほか12名。議事: 昭和45年度報告書について。2) 懇談・会食。

(33) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する調査分科会 (46.6.24) 出席者: 関係者14名。議事: 1) 報告書のとりまとめについて。2) 昭和46年度調査中間報告。3) 実プランにおけるデータ採集の方法。

(34) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会 (第1回) (46.6.25) 出席者: 大久保委員長, ほか15名。議事: 1) 委託者挨拶。2) 委員の紹介。3) 委託内容説明。4) 調査方針; ①設計基準, ②風洞実験方法, ③実験橋。5) その他。

(35) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ (第14回) (46.6.25) 出席者: 関係者6名。議事: 地質調査に関する解説書の原稿につき検討した。

(36) トンネルの合理的設計に関する研究小委員会 (46.6.25) 出席者: 関係者8名。議事: ずい道の合理的設計に関する研究報告書原案審議。

(37) 視聴覚教育委員会第4小委員会 (教材製作) (46.6.26) 出席者: 佐藤主査, ほか3名。議事: スライド製作に申し打合せ, 土木材料実験指導書を中心に

製作する事を決定, 実作業を行った。

(38) 会誌編集委員会座談会 (46.6.28) 出席者: 関係者4名。議事: 1) 学会誌56巻8号計画学特集号収載の座談会を実施・速記にて収録。2) 仮題; 土木計画学—この学問の現状と将来。

(39) 図書館運営小委員会 (46.6.29) 出席者: 園田委員長, ほか2名。議事: 図書館備付図書 の廃棄につき打合せした。

(40) 会誌編集委員会 (46.6.29) 出席者: 千秋委員長, 服部幹事長, ほか25名。議事: 1) 経過報告。2) 新任委員へ委員会運営方法等について説明。3) 学会誌特集協議。4) その他。

(41) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会 (46.6.30) 出席者: 久保委員長, ほか25名。議事: 1) 委員会構成案について。2) 委員会の活動と作業予定。3) 本四連絡橋耐震合同研究会報告書の紹介。4) 研究活動のテーマ, その他。

(42) 海洋構造物に関する調査研究委員会 (46.6.30) 出席者: 村上委員長, ほか20名。議事: 1) 委員会構成。2) 関連委員会の活動状況。3) 作業目標。

(43) 論文集編集委員会主査幹事会 (46.6.30) 出席者: 前田委員長, 田島, 伊勢田前主査, 伊藤, 室田, 久野, 新谷, 林, 岩間の各主査, ほか8名。議事: 1) 前回事務録の確認。2) 各小委員会報告。3) 論文報告集第193号登載原稿について。4) 欧文論文集について。5) 46年度副委員長に久野信郎氏を決定。6) 定例主査幹事会開催日について。7) 送付事項・その他。8) 46年度方針。

(44) 行事企画委員会 (46.7.1) 出席者: 森委員長, 嶋副委員長, ほか20名。議事: 1) 経過報告。2) 委員会内規について。3) 委員会の運営方針について。4) 昭和46年度夏期講習会。5) 昭和46年度全国大会。

(45) 文献調査委員会 (46.7.1) 出席者: 小林委員長, ほか12名。議事: 1) 会誌56巻9号登載抄録の件。2) 解説記事の件。3) 委員会活動について。

(46) 原子力立地部会立地一般分科会 (46.7.1) 出席者: 関係者3名。議事: 分科会報告書「わが国における原子力発電所の立地状況」の編集打合せ。

(47) 第2回土木製図基準改訂委員会 (46.7.2) 出席者: 菊池委員長, ほか24名。議事: 自動製図の基準化に関する問題点・話題について; 1) 趣旨説明 (島田幹事)。2) 松下電信工業の場合 (小嶋氏)。3) 武藤工業の場合 (望月氏)。4) 三菱重工業の場合 (神田氏)。5) 問題点および話題の提供。

(48) 海岸工学委員会編集小委員会 (46.7.2) 出席者: 堀川委員長, ほか66名。議事: 第18回海岸工学講演会プログラムの作成。

(49) 環境問題小委員会 (46.7.2) 出席者: 松本委員長, ほか7名。議事: 1) 委員追加の件。2) グループ別調査研究計画について。3) 大気汚染, 固型廃棄物に関する調査研究について。

(50) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会設計基準分科会 (46.7.2) 出席者: 関係者14名。議事: 設計基準作成につき打合せした。

(51) 岩盤力学委員会第3分科会打合せ (46.7.3) 出席者: 石原主査, ほか6名。議事: 現地岩盤試験資料のとりまとめを行った。

(52) 第1回海岸工学委員会 (46.7.5) 出席者: 岩垣委員長, 堀川幹事長, ほか26名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 議事録の確認。3) 委員会相談役について。4) 第18回海岸工学講演会について。5) 第13回海岸工学国際会議について。

(53) 水資源問題懇談会 (46.7.5) 出席者: 関係者20名。議事: 講演; 水資源の開発をめぐる諸問題—利根川を例として—藤吉三郎氏 (住宅公団)。

(54) 海岸工学委員会幹事会 (46.7.5) 出席者: 岩垣委員長, 堀川幹事長, ほか10名。議事: 1) 議事録の確認。2) 第18回海岸工学講演会について。3) 賛助金 (業界案内) について。4) 委員会相談役について。

(55) 建設コンサルタント委員会第5回幹事会 (46.7.5) 出席者: 猪瀬委員長, ほか9名。議事: 海外進出促進方策について; 1) コンサルタント側の行なうこと。2) 官側の行なうこと。

(56) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会塗装分科会 (46.7.5) 出席者: 関係者10名。議事: 塗装仕様作成につき打合せした。

(57) 橋梁構造委員会 (46.7.7) 出席者: 関係者13名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 連絡事項; ①鋼材クラブよりの委託の「海洋構造物」の件, ②本州四国連絡橋公団よりの委託調査の件, ③「橋」年報小委員会の連絡事項。3) 講演「IABSE ロンドンコロキウムおよびカーデフ研究発表会報告」前田委員。

(58) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第2回幹事会 (46.7.8) 出席者: 大久保委員長, ほか7名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 耐風設計基準 (1971) 案について。3) 風洞実験法に関する調査について。4) 風観測の資料に関する調

参加者：162名

(2) 第1回商議員会 (46.6.30, 大阪市開発公社) 出席者：商議員・評議員理事, 幹事 43名。

(3) 第2回幹事会 (46.6.30, 大阪市開発公社) 出席者：田中支部長, 後藤幹事長, ほか23名。

(4) 計画担当幹事会 (第1回) (46.6.30, 大阪市開発公社) 出席者：田中支部長, 後藤幹事長, ほか9名。

(5) 庶務担当幹事会 (第1回) (46.7.14, 土木学会関西支部) 出席者：田中支部長, 後藤幹事長, ほか5名。

(6) 企画担当幹事会 (第1回) (46.7.14, 土木学会関西支部) 出席者：田中支部長, 後藤幹事長, ほか10名。

(7) 計画担当幹事会 (第2回) (46.7.14, 土木学会関西支部) 出席者：田中支部長, 後藤幹事長, ほか5名。

(8) 事務所運営委員会 (第2回) (46.7.14, 土木学会関西支部) 出席者：土木学会, 土質工学会より関係者12名。

(9) 第62回騒音振動委員会 (46.7.20, 土木学会関西支部) 出席者：関係者8名。

(10) 騒音振動委員会幹事会 (第59回) (46.7.20, 土木学会関西支部) 出席者：関係者2名。

(11) 商議員交替

(旧) 真木健治郎氏
関西電力(株)北陸支社次長へ転出

(新) 近藤 信昭氏

関西電力(株)建設部水力計画課長に委嘱

査について。5) 現地視察について。6) 委員会提出資料について。

(59) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第1グループ打合せ (46.7.9) 出席者：久保委員長, ほか10名。議事：研究活動のテーマ, 目標, スケジュール等につき検討した。

(60) 昭和46年度水理委員会第1回幹事会 (46.7.9) 出席者：吉川委員長, 岩佐幹事長, ほか10名。議事：1) 委員長挨拶。2) 議事録の確認。3) 報告事項：①移動床流れの粗度と河床形状に関する研究小委員会報告, ②水資源問題懇談会報告, ③第7回水工学に関する夏期研修会。4) 第16回水理講演会開催計画。

◎その他

(1) アルミナセメントコンクリートに関するシンポジウム (46.6.16)

場 所：土木図書館講堂

参加者：約200名

題 数：22題

(2) 建設業に関する会議 (46.6.17) 出席者：関係者13名。

(3) 岩の力学研究連合委員会第2回幹事会 (46.6.29) 出席者：関係者6名。議事：1) 国際岩の力学会 (ISRM) について；①国内会員のとりまとめ, ②外国よりの連絡事項。2) 岩の力学講演会(仮称)開催について。3) 今後の委員会活動について。

(4) 岩の力学研究連合委員会第2回委員会 (46.6.29) 出席者：岡本委員長, ほか4名。議事：1) ISRM 委員会活動の経過報告；① Standardization on Laboratory and Field Tests 東北大学 堀部氏。② Teaching of Rock Mechanics

埼玉大学 小野寺委員。2) 連絡ならびに協議事項；① ISRM について, ② 岩の力学講演会(仮称)開催について, ③ 今後の委員会活動について。

(5) 映画会 (46.7.10)

場 所：土木図書館講堂

参加者：観客20名

記 事：映画5本を上映した。

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 全国大会総務部・講演部連絡会 (46.7.17, 東北大学会議室) 出席者：関係者8名。

(2) 全国大会講演部委員会 (46.7.28, クロバー) 出席者：関係者16名。

(3) 全国大会総務部会案内班打合せ (46.7.30, 支部事務局) 出席者：関係者6名。

(4) 全国大会総務部会 (46.8.9, クロバー) 出席者：関係者17名。

(5) 第4回屋食会 (46.8.11, 支部事務局) 出席者：関係者10名。

(6) 全国大会総務部案内班 (46.8.20, 支部事務局) 出席者：関係者6人。

◎関西支部

(1) 講演会「ロスアンゼルス地震(サンフェルナンド地震)による土木関係施設の震害報告」(46.6.29, 大阪科学技術センター)

題目と講師：

1. 橋梁・道路の震害

京都大学教授 工学部 工博 後藤 尚男

2. ダム・電力施設の震害

関西電力(株)奥多々良木水力発電所

編 集
後 記

今月は請負制度について、いろいろな角度からその問題点をさぐり特集いたしました。

請負という言葉自体が土木建設業者の代名詞のようにとられるほど、われわれにとってなじみの深い言葉ですが、請負の本来の意味である請負契約は、一般の契約とはちょっとニュアンスが異なるようです。たとえば、広辞苑によると請負の説明の一つとして「建築・土木工事などの場合のように、請負人がその仕事の完成までの全責任を引受け、注文者がそれに対して支払うことを約すること」とあります。

土木構造物は、製作の段階で、たとえば自然条件等の契約時にはわからない不確定な要因のあることなど、通常の製品の製作と異なった特殊な条件のあることが、請負人にかかりの責任を負わせた契約方式を生みだしたも

のと思われます。逆をいうと、請負契約は、本来発注者側が専門家である請負人に全面的に信頼をおいたうえで結ばれた、いわば契約の原型的なものであるのかもしれませんが。業法改正直後でもありますので、大方のご意見を期待しております。なお、今月号には漫画集団の永井保画伯をわざわざわさせて幾つかカットを挿入してみました。ご支持が得られれば今後も考えたいと思います。

多忙な生活ではふらりと旅に出るのはなみだいてのことではありませんが、10月1日からの仙台での土木学会全国大会を機会に、東北地方土木工事めぐりの旅をしてはいかがですか。本誌5月号掲載の東北地方主要土木工事一覧が参考になりますのでご覧下さい。

[福田 正・記]